

令和5年度全国学力・学習状況調査
中学校英語「話すこと」調査 事前検証②に関するFAQ

Q1 MEXGBT を既に活用しているのですが、事前検証②の実施は必要なのでしょうか。

事前検証②については、令和5年度英語「話すこと」調査と同じ環境で検証用のプログラムを用いて、問題の閲覧、解答の録音、録音データのアップロードが正常に行われるかなど ICT 環境・端末操作の確認を行うことを目的としていますので、令和5年度英語「話すこと」調査を実施する全ての中学校において実施いただく必要があります。

Q2 事前検証②で各学級を分割して実施するにあたっては、参考資料2のとおり実施するべきなのでしょうか。

この資料に示しているオペレーションは、あくまで英語「話すこと」調査の各学校の調査日（以下「調査日」という。）における実施の例であり、各学校の実情により、参考資料2のとおり実施する必要はありません。

なお、事前検証②については、調査日と同様の方法により実施いただくことを推奨しており、可能な限り、調査日と同様の方法での実施をお願いしておりますが、それが困難な場合には、調査日における実施方法と別の方法となることも差し支えありません。（Q3を参照）

Q3 事前検証②の実施に当たって、2月～3月に時間割を調整したり待機室を確保することができず、調査日と同様の方法での実施が困難なのですが、以下のいずれかの方法で実施してもいいのでしょうか。

- (1) 待機室は設定せずに、教室内で生徒全員が自席に着席の上、事前検証②の検証用のプログラムを1/3の人数ずつ実施する（教室間の移動を行わない）。
- (2) 待機室は設定せずに、教室内で生徒全員が自席に着席の上、事前検証②の検証用のプログラムを一斉に実施する（教室間の移動を行わず、分割も行わない）。
- (3) 火曜日の1時限目に2年1組が実施し、水曜日の4時限目に2年2組が実施するというように、クラスごとに別の日時（英語の授業が予定されている日時）に実施する。

事前検証②については、調査日と同様の方法で実施することを推奨していますが、各学校の実情により、調査日と同様の方法での実施が困難な場合には、事前検証②を上記（１）～（３）の方法で実施していただいで差し支えありません。

なお、複数の日程で実施する場合はその旨を中学校調査コールセンターに連絡し、日程を調整してください。

Q4 元々生徒全員が事前検証②を実施することとしていましたが、文部科学省が指定する日に学年閉鎖となり、学校行事等の関係上、別の日に生徒全員に実施させることも難しい状況となってしまったので、教員のみが実施することとしてもよいでしょうか。

差し支えありません。当日実施校の場合は、その旨を実施報告に記載していただくこととなります。ただし、英語「話すこと」調査の分散実施の試行や ICT 環境・端末操作の確認を行う観点からは、可能な限り生徒全員で実施していただくことを推奨します。

Q5 私立学校で生徒に ICT 端末を整備していないため、事前検証②をコンピュータ室等で実施してもよいですか。

事前検証②については、調査日と同様の方法で実施していただくことを推奨しておりますので、調査日においてコンピュータ室等で実施される場合は、事前検証②も同様にコンピュータ室等で実施していただくことが望ましいと考えております。

調査日においては、録音を正常に行えるように、参考資料 2 のように生徒間の間隔を確保する必要があるため、学年・学級を分割して実施していただく必要が生じることが見込まれます。この場合、事前検証②においても同様に分割して実施していただくことを推奨しています。なお、MEXCBT 及び各学習 e ポータルに 対応していない OS・ブラウザ等があるため、必ず事前に利用環境をご確認ください。さらに、受検する生徒ごとに学習 e ポータルへログインし直す必要があることについて、十分ご注意ください。

※MEXCBT の利用環境については以下の URL をご確認ください。

https://support2.mexcbt.mext.go.jp/faq/system-sousa/27_g5-2yx69/

※各学習 e ポータルの利用環境については各事業者に御確認ください。

Q6 ヘッドセットの到着送付はいつ頃になりますか。

ヘッドセットは、当日実施校には、事前検証②の一斉実施日である2月17日までに、期間内実施校には3月下旬から4月上旬までに送付予定です。

Q7 事前検証②は、ヘッドセットが届いていなかった場合、どのように実施すればよいでしょうか。

事前検証②の実施日までにヘッドセットが届いていない場合は、端末に備わっているスピーカーとマイクで実施してください。

Q8 生徒の個人持ちのヘッドセットがある場合、それを用いてもよいですか。

事前検証②については、調査日と同様の方法で実施していただくことを推奨しておりますので、調査日において生徒の個人持ちのヘッドセットを使用される場合は、事前検証②も同様に生徒の個人持ちのヘッドセットを使用していただくことが望ましいと考えております。

Q9 生徒個人持ちのヘッドセットはないのですが、イヤホンのみ持っている場合、イヤホンをつないで、集音は端末のマイクを使用してヘッドセットの代替としてよいのでしょうか。

事前検証②については、調査日と同様の方法で実施していただくことを推奨しておりますので、調査日においてイヤホンと端末のマイクにより実施される場合は、事前検証②も同様にイヤホンと端末のマイクで実施していただくことが望ましいと考えております。一方で、端末のマイクを調査日に使用する場合は、ヘッドセットと異なり他の生徒の声も本人の声と同様に録音してしまう可能性がありますので、事前検証②において実際にその性能をよくご確認ください。ご確認の上、少しでも端末のマイクの活用に不安がある場合には、事業者から送付するヘッドセットを使っただけであることを推奨します。

Q10 事前検証②を実施するにあたって、他学年の生徒によるネットワークの使用の制限は必要ですか。

授業時間内に計測したダウンロード・アップロード速度をもとに、1学年の全クラスを、1単位時間内で実施する場合の一人当たり帯域が、どちらも最低基準（ダウンロード:0.5Mbps、アップロード:0.6Mbps）を満たす場合に、特に他学年のネットワークの使用制限をかけずに英語「話すこと」調査を実施する予定である場合には、事前検証②も同様に使用制限をかけずに実施してください。最低基準を満たさない場合には、当該時間帯には、他学年の生徒によるインターネットの使用は、例えば動画の視聴などネットワークに負荷がかかるものは避けるよう、事前検証②においても各学校で工夫いただければと思います。

詳細は、参考資料1の4ページをご確認ください。

Q11 事前検証②はその期間内に一度しか実施できないのでしょうか。

1月中旬頃までにお知らせする事前検証②の実施日については1回分となりますが、各学校において調査日に向けた分散実施の再検討・確認などを希望される場合には、再実施することも可能です。再実施に当たっては、1月下旬以降にお示しする事前検証②の実施マニュアルをご確認いただき、中学校調査コールセンターに連絡し、日程を再度調整の上、実施してください。

Q12 MEXCBT に接続するにあたり使用する Web ブラウザはどのようにすればよいのでしょうか。

MEXCBT の動作環境は、「Microsoft Edge」「Apple Safari」「Google Chrome」の最新版のブラウザとなりますので、事前検証②の実施日の前日までに、最新版のブラウザにアップデートをお願いします。特に「Apple Safari」は、iPadOS をアップデートすることで最新化できますが、iPadOS15 以上にアップデートしていない場合では英語「話すこと」調査における録音機能が使えませんので、必ず OS アップデートを実施してください。

また、使用しているブラウザのバージョンで英語「話すこと」調査が実施できるかどうかを事前検証②の前に確認しておきたい場合は、MEXCBT に搭載されている入門問題をご活用ください。

Q13 iPad の型が古く、最新 OS へのアップデートに対応していませんが、どうしたらいいですか。

例えば以下の機種を使用している場合には、iPadOS15 以上へのアップデートができず、その端末では英語「話すこと」調査が実施できませんので、コンピュータ室等での実施をご検討ください（その場合の留意事項については Q5 を参照してください。）。実施が難しい場合には、中学校調査コールセンターまでご連絡ください。

〔iPadOS15 以上にアップデートできない機種〕

- ・ iPad（第 1～4 世代）
- ・ iPad mini、iPad mini2、iPad mini3
- ・ iPad Air（第 1 世代）

Q14 事前検証②を実施するにあたり、端末側で準備することはありますか。

各端末が十分に充電された状態で実施してください。また、Web ブラウザで多数のウェブページを開いていたり、バックグラウンドでアプリが多数動作し続けたりしている場合には、端末のメモリに不足が生じる等 MEXCBT が正常に動作できなくなる可能性がありますので、Web ブラウザは不要なページのタブやウィンドウを全て閉じるように、あらかじめ生徒にご指示等をお願いします。詳細は参考資料 3 をご確認ください。

また、学習 e ポータルへのログインは、ブラウザのパスワード保存機能等を利用することにより、一度実施していただくことで次回以降自動入力によりスムーズにログインできるようにすることも可能ですので、その機能のご利用も併せてご検討ください。

Q15 事前検証②の解答は、採点してもらえるのでしょうか。

事前検証②の解答は採点しません。本検証を生徒に実施させる趣旨は、あくまで令和 5 年度英語「話すこと」調査と同じ環境で検証用のプログラムを用いて、問題の閲覧、解答の録音、録音データのアップロードが正常に行われるかなど、ICT 環境・端末操作の確認を行うことであることをご理解いただければと思います。

Q16 現在中学第2学年の生徒がいない学校については、事前検証②はどのようにしたらよいですか。

調査日までに対象生徒の転入が見込まれない場合には、事前検証②の実施は不要です。対象生徒の転入が生じた際には、中学校調査コールセンターまでご連絡をお願いします（他教科を含めた調査資材の送付とともに、実施日程について調整してください）。

ただし、4月に転入の可能性のある学校で、あらかじめ3月までに事前検証②の実施を希望する学校については、文部科学省のBOX(URLは以下のとおり)から事前検証②の実施マニュアルと職員実施用の答案番号票が2月1日以降ダウンロード可能となりますので、それらをダウンロードの上、職員が実施してください。

URL <https://mext.box.com/s/cyy27zkyb60b6tmqe3g9btn561lk3odq>

Q17 事前検証②の実施においては、障害のある生徒等に対する特別な配慮が行われますか。

12月6日に開催した「令和5年度全国学力・学習状況調査のオンライン実施に関する説明会」の資料3に掲載したもののうち、点字問題プログラム以外は事前検証②でも活用いただけるよう、準備を進めております。実施方法等の詳細は、1月下旬以降 Web システムでダウンロード可能となる事前検証②の実施マニュアルをご参照ください。

Q18 点字を使用する視覚障害のある生徒は、事前検証②は参加できず、令和5年度の本番で初めて対応することになるのでしょうか。

この事前検証②の実施の趣旨は、英語「話すこと」調査をオンライン方式で実施するに当たって、各学校の環境からMEXCBTにアクセスし、MEXCBTを用いた音声による解答ができるかを確認することであり、可能な限り生徒にも一連の流れを確認させることが望ましいと考えております。点字を使用する視覚障害のある生徒本人に事前検証②を実施させる場合は、職員の補助のもと、調査日等においては点字問題用の補助資料（プログラム中の画面に記載されている文言が紙面に点字で表示されたもの）があることを説明の上、拡大文字問題プログラム等により、これらの一連の流れをご確認ください。